

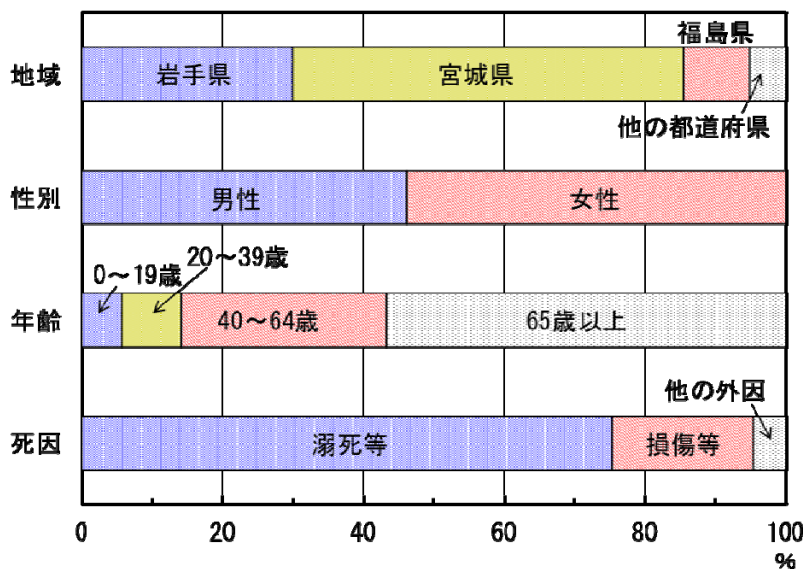
「東日本大震災による死亡の状況」

「平成 23 年 人口動態統計 上巻」の参考表に、東日本大震災による死亡数が表章されています（下記アドレスを参照）。この参考表を用いて、死亡状況の特徴をまとめました。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei11/index.html>

図に、東日本大震災による死亡の状況を示します。死亡数は 18,877 人でした。地域別では岩手県が 5,642 人（30%）、宮城県が 10,483 人（56%）と福島県が 1,757 人（9%）であり、この 3 県の合計が 17,882 人（95%）でした。性別では男性が 8,693 人（46%）と女性が 10,184 人でした。年齢別では 0～19 歳が 1,021 人（6%）、20～39 歳が 1,553 人（8%）、40～64 歳が 5,272 人（28%）、65 歳以上が 10,270 人（54%）でした。死因別では溺死等が 14,200 人（75%）、損傷等が 3,782 人（20%）、他の外因が 895 人（5%）でした（ここでは国際疾病分類の第 10 回修正の T75.1 を溺死等、T14.9 を損傷等、これら以外の S00～T98 を他の外因と呼びます）。

図. 東日本大震災による死亡の状況：地域、性別、年齢、死因



以上、東日本大震災による死亡については、通常の疾病による死亡と比べて、地域、性別と年齢の状況が大きく異なり、また、通常の外因による死亡と比べて、死因の状況が全く異なります。

(橋本修二)